

## 市民の危機管理体制について

## 四 竈 英 夫



〔質問〕8月29日早朝、北朝鮮は中距離弾道ミサイルを発射した。また、9月15日にも再び発射し、前回よりも長く飛んだと伝えられた。世界的に非難と抗議の声が上がっているが、今後、発射が中止されるかはわからない。  
ミサイル発射後、全国瞬時警報システム（Jアラート）が12道県で避難を呼びかけ、この警報を受け、本市ではしろいし安心メールを通じて市民に注意を呼びかけた。

このことについて、市民に対し、緊急時の対応についての心構えと注意の喚起が必要と思うが、見解を伺う。

〔答弁〕【市長】市民に対する注意喚起については、屋外にいる場合はできるだけ頑丈な建物、地下があれば地下に避難し、適当な建物がない場合には、物陰に身を隠すか地面に伏せて耳を塞ぐのも有効であると報道がされている。

また、屋内の場合は、窓のない部屋に移動する、窓がある場合は、カーテンを引くことなどの行動をとっていただきたい。

これらについては、市のホームページ等にも掲載しているので、ぜひご覧いただきたいと考えている。

〔質問〕しろいし安心メールの登録者数が4千43名とのことだが、もっと増やす対策が必要ではないか。

〔答弁〕【市長】しろい

し安心メールは、ミサイル発射時に限らず、災害時の避難情報や気象情報、不審者情報、火災情報等多くの情報を発信している。

毎月の広報誌とホームページに登録するためのQRコードを掲載し、周知を図っている。

〔質問〕緊急時の情報をいち早く伝えるため、防災行政無線の導入を検討されてはいかがか。

〔答弁〕【市長】本市は広範な市域を有しており、費用の面からも導入は非常に難しい。

〔質問〕市街地（旧町内）だけでも設置する考えはないか。

〔答弁〕【市長】旧町内だけの設置ということでは考えていない。

市民はどこに居住していても等しく行政サービスを受取る権利がある。一方の市民にだけ情報が届き、片方には届かなくてもいいと言っ考えは全くない。

## 益岡公園野球場について

## 佐 藤 秀 行



〔質問〕工期2年目も半年を過ぎた現在の進捗状況、また、この事業にかける思いを伺う。

〔答弁〕【市長】改修工事は、国からの補助を受け実施していることから、国の予算配分次第で工事の進捗が大きく左右され、平成29年度においては、要望額には程遠い予算配分であったため、大幅に遅れている。

改修工事が完了すれば、競技者が安全、安心にプレーできるようなになり、スポーツ環境が充実し、各種大会等の開催により交流人口の拡大につながる野球場になるものと考えている。

〔質問〕早期改修工事の終了に向けて、今後

どのように尽力されるのか、所見を伺う。

〔答弁〕【市長】益岡公園の改修工事は、財政的に市の単独費だけでは難しく、国の補助なしでは実施することが困難な事業である。

今後、国、県に働きかけをし、予算獲得のため奔走したいと考えている。

◎白石市観光施設間シャトルバス試験運行について

〔質問〕白石市観光施設間シャトルバス試験運行にかける市長の思いを伺う。

〔答弁〕【市長】本市の魅力ある観光施設を周遊して満喫していただくことで、施設利用促進の更なる効果に大きな期待をしている。

また、二次交通としても、今後、運行可能かどうかを色々な状況

を勘案しながら、バス事業者とともに見定めたいと考えている。

◎小・中学校の各種大会派遣に要する助成について

〔質問〕中学生野球の選抜チームが県大会、東北大会及び水戸市で行われた大会等に出場したことで、何かしらの助成金の交付は行われたのか伺う。

〔答弁〕【教育長】交付は行っていない。学校教育団体等が主催する営利を目的としない大会等に出場した場合に交付をしている。

〔質問〕今後、助成金の交付について、どのように対応していくのか、所見を伺う。

〔答弁〕【教育長】助成金交付要綱の表現等の改正を考えているが、助成対象の拡大は難しいと考える。

今後とも適切な運用を図っていききたい。